

やまさき

今できることをやる! 職場体験で課題を発見



車イスは塚口さんの身体に合わせたオーダー品(点字体験教室にて)

山崎支部では、7月30日から一週間、県立播磨特別支援学校高等部2年生の塚口裕佳子さんを職場体験実習で受入れました。今回は塚口さんの体験談を紹介します。

『普段経験できないことばかりで、とても充実した1週間でした。縫製ボランティア体験では、作業を通じて、講師の知恵にも驚くことばかりでした。デイスサービスでは、利用者さんとの交流にやすらぎを感じ、心に残る新鮮な意見もい

いただきました。

また、お達者クラブ(介護予防普及啓発活動)や、配食サービスなど、多くの体験実習を通じて、これからの人生に役立つ学びがありました。そして、私を「障がいがある人」としてではなく、ふつうの人として接していただき、温かさをたくさんいただきました。

「実習で見つけた課題をクリアーすること」を新しい目標に、これから頑張っていきたいと思います。』

社協も車イスの実習生は初めての受入れで、この度は学びの機会になりました。塚口さんがめざす目標に近づけるよう応援していきます。

(山崎支部 春名豊滋)



目が不自由な人への点字ブロックが車イスには段差がバリアに

いのちのみや

ちいちゃい子と遊ぶん久しぶりやで…



子どもたちの元気な姿に、思わず笑顔がこぼれます

千町ふれあいサロン交流会

千町では、8月29日、上千町公民館を会場に、ふれあいサロンが開催されました。

今回は、昨年に引き続き、一宮町内の子育て中のお母さんと子どもたちの交流会でした。

一宮保健福祉センターを出発したマイクローバスは、10時に公民館に到着。お母さんたちは、すでにお待ちの千町サロンのみなさんと対面。

まずは、自己紹介から始まり、お母さんが子どもを紹介し、「わたしはくです」と自



一宮支部では、ふれあいサロン交流会を19年度、3回計画しています

分で自己紹介できた子どもには、大きな拍手が起きました。子どもたちは、おもちゃで遊んだり、友達とじゃれあったり、突然の獅子舞の登場に大はしゃぎするなど、会場はとてもにぎやかになりました。最初はみなさん緊張ぎみでしたが、時間とともに笑顔や会話が増え、楽しい時間もあったという間に過ぎました。

(一宮支部 波多野好則)